

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局
 〒640-8314
 和歌山市神前 405-3
 TEL 073-473-2301
 FAX 073-473-2302
 発行責任者
藤本 哲史



2015年 闘争日誌

- ①J-CLICKによる魂のダンス(1/9)
- ②企業連新春交礼会であいさつする瀧口秀光理事長(1/16)
- ③西光万吉顕彰会で(3/22)
- ④県議会議員選挙でふじ本まり子議員、当選(4/12)
- ⑤町議会議員選挙で当選を喜ぶ石本一也議員ほか支援者(4/26)
- ⑥第86回メーデー和歌山県中央集会(4/29)
- ⑦高野山差別戒名法会で組坂繁之中央執行委員長(5/7)
- ⑧中澤敏浩委員長を偲ぶ会(5/14)
- ⑨第60回定期大会で松本貞次副執行委員長(6/7)
- ⑩町議会議員選挙で喜びのばんざいをする辻本意典議員(9/6)
- ⑪対和歌山県交渉で田上武・実行委員会会長(11/9)
- ⑫ふれあい人権フェスタ、県連ブース(11/14)



情勢に立たされていると、平和と人権がさらに危うい状況に立たされていると、昨年「安保法制」の強行成立にみられるように、面してきます。

こうしたことをはじめ、さまざまな課題にたいして積極的に行動してきた一年であったと思います。さて、新たな年は昨年にも増して多くの課題に直面してきます。

また、そうした行動も含め、県選出国会議員のみならず、知事をはじめ関係者の深い理解と積極的な取り組みのなかで、昨年11月16日に部落解放に向けた法の実現に向け、オール和歌山で東京集会を成功させてきました。

新たな年のはじめにあたり、部落解放同盟を代表して一言ごあいさつ申し上げます。昨年は、私たち部落解放運動にとりまして、大きな節目を迎えた年でした。まず「同和对策審議会」から答申が出されて50年目の年でした。また「部落地名総鑑」発覚40年、さらに「女性差別撤廃条約」発効30年の年でもありました。



年頭にあたって
 部落解放同盟和歌山県連合会
 執行委員長 藤本 哲史

私たちが県連執行部一同、中澤委員長をはじめ多くの先人たちの意思や行動を胸に刻み、すべての同盟員や共闘関係の皆さんとともに、一層団結を強め「よき日」に向けてまい進していくことをお誓い申し上げます。新年にあたってのあいさつとします。

最後に、一昨年の11月に急逝された中澤敏浩・前委員長の意思を継承し、昨年の大会で新たな執行体制を確立し、今日までまい進してきました。

さらに、私たちの生活と福祉、就労と産業、教育と啓発など、地域の日常生活の強化を基盤に、さらに要求を集約し、その実現に向け粘り強い取り組みを展開してまいります。

また、安倍政権のもとで実現が困難な状況に立たされている「部落差別撤廃」に向けての法的措置の成立に向け、昨年の成果をふまえて、多くの皆さんと連携しながら実現に向けた広範な行動を展開していく決意であります。